

県民が考える沖縄の魅力を観光客へ！

名桜大学 国際学群 観光産業専攻
3年次 寺村希美

目次

1.背景

2.内容(提案内容, 実現可能性)

3.将来性・継続性

背景

リピーター率の増加

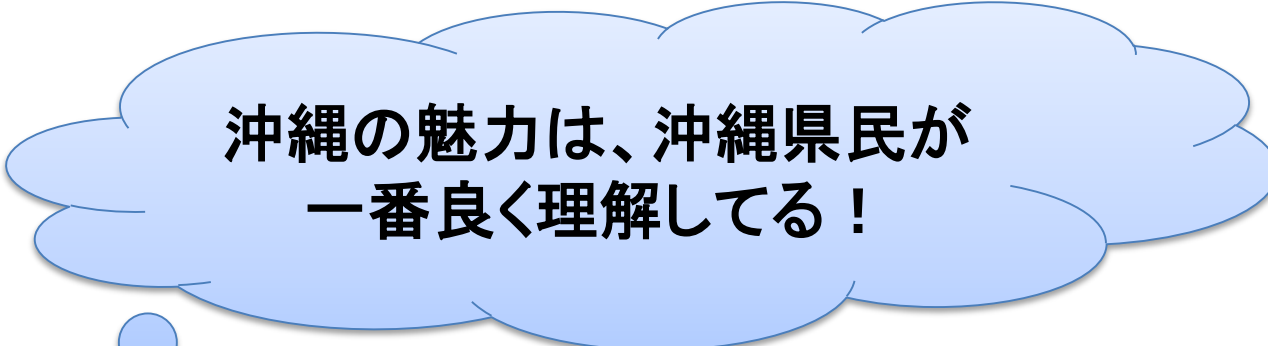
- 沖縄に訪れる観光客数のうち81.8%がリピーターで構成されている
- ガイドブックに載っていないような観光地はないかと聞かれたことがある→マンネリ化し始めている??

旅行形態の変化

- 団体旅行から個人旅行やフリープラン型パック旅行へと旅行形態がシフト
- 自分で行きたい観光地をリサーチして旅行に来る観光客が多数

<課題>

- ガイドブックに載っていないような沖縄の魅力的な場所探し
- 観光客が個人で観光したい場所を検索できるような仕組み作り



沖縄の魅力は、沖縄県民が
一番良く理解してる！

⇒ **沖縄の新たな情報発信方法の提案**

内容

1

大学生運営の観光情報発信
HPの作成

2

各市町村を中心とした
観光ナビゲーションの導入

①大学生運営の観光情報発信HPの作成

- 県内の大学生が中心に運営するHP作成

→構築、情報のアップロードなどを全て**大学生中心**で行う

日記やアルバム等の機能を付け、写真と共に具体的におすすめの場所を紹介する

期待される効果

- 県外出身生もいるため、**観光客と県民の両方の立場**から考え、情報発信することができる
- 学生自身の主体性を養うことにもつながる

①大学生運営の観光情報発信HPの作成

＜実現可能性＞

- 県全体の取り組みとして行うためには、**大学との協力体制**を整える必要がある
→少数の大学生から取り組みを広めていく

内容②各市町村を中心とした観光ナビゲーションの導入

- 各市町村役場を管理者とする
観光情報ナビゲーションソフトの導入

→観光情報ナビゲーションを行うアプリケーションソフトの導入

→情報の発信・管理を各市町村役場(観光課など)が行う

期待される効果

- 観光客は観光地のより詳細な情報を知ることができる
- 地域として、観光客に来て欲しい場所を紹介することができる

内容②各市町村を中心とした観光ナビゲーションの導入

(例)Skyware...地図やAR(拡張現実)技術を用いて観光ナビゲーションを行う無料のアプリケーションソフト

<特徴>

- ①利用者に必要情報を入力してもらうだけで利用者にあった最適な観光ルートを提案
- ②AR画面に切り替え、自分がいる場所をカメラを通して映し出すと、その風景に吹き出しが現れ、詳しい情報を表示
- ③多言語での案内にも対応
- ④情報の登録、修正、削除はSkyware導入者のみ可能

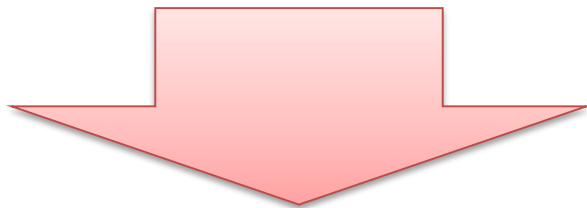
内容②各市町村を中心とした観光ナビゲーションの導入

＜実現可能性＞

- 沖縄県全体の取り組みとして実施するためには、**市町村役場との協力体制を整える**必要がある
→少数の市町村に協力を仰ぎ、広めていく
- **沖縄観光の形態にあった**アプリケーションソフトを導入することで効果的に情報を発信できる
失敗例...セカイカメラ

将来性・持続性

①②両提案とも、情報の発信者は**沖縄県民**である



<観光客側のメリット>

- ・ガイドブックに載っていないような県民おすすめの場所を知ることができる⇒**マンネリ化を防げる**
- ・自分が行きたい場所のより**詳細な**情報を**気軽に**知ることができる

<発信する県民側のメリット>

- ・自分のまちの魅力を**発信**できる
- ・自分のまちの魅力を**再発見**できる

参考文献

- 沖縄県(2013)『平成24年度沖縄県観光観光要覧』, p.12
- 「セカイカメラの終わりと未来ARアプリの先駆けはなぜ失敗したか？」zakzak by 夕刊フジ(2014年5月21日閲覧)

<http://www.zakzak.co.jp/zakspa/news/20140210/zsp1402101054001-n1.htm>

- 「SkyWare」変化する企業に、進化するITソリューションを。TIS Direct Web(2014年5月21日閲覧)

http://www.tis.jp/service_solution/skyware/